

## 最近の演奏会から

### オーケストラの日 第9回ファミリーコンサート

3/18(日) 小牧市市民会館ホール ヴァイオリン 清水 里佳子

バレエ界の巨匠が贈るファミリーコンサート。これまでに多くの福田ワールドを展開して頂いたが、今回はワルツ特集とバレエの王道！「白鳥の湖」でした。

まず第一部はワルツ。どの曲も福田さんの思い入れのある曲ばかりで、スケートの浅田真央選手の使用したハチャトゥリアン「仮面舞踏会」のワルツから、ミュージカル、オペレッタ、そしてバレエのワルツまで、7曲盛りだくさん演奏しました。福田さんの思い入れは、素敵な笑顔で話されるトークだけではなく指揮ぶりからも伝わってきました。

二部は後藤田バレエ団との共演。何よりも目玉は、舞台上でオーケストラが演奏すること。いつもは客席より低い箱の中で演奏していますが、同じ舞台上での演奏は、オーケストラにとっても、バレエ団にとっても、迫力のある、より一体化した舞台となっていました。それに加えて、バレエを知り尽くしている福田さんのお話付き。主役のダンサーさんの素敵な踊りにうっとりする場面や、「有名な“4羽の白鳥”は最初、子供たちの踊りだった…」とのことで実際に子供たちの踊りが披露され、その可愛らしさに、客席やオーケストラも和やかになる場面もありました。

私達は、これからもどんどん音楽の楽しさ、魅力をお伝えしていきたいと思っています。



### 小牧特別演奏会 池辺晋一郎の名曲コンサート

5/31(木) 小牧市市民会館ホール クラリネット 玉井 真紀子



中部フィルとは3度目の共演となる池辺晋一郎さんとのコンサート、今回は初めて地元小牧で開催されました。

前半はオペラの序曲、後半は武満徹さんの作品、そして池辺さん編曲の映画音楽、大河ドラマなどのオリジナル作品と盛り沢山のプログラムとなりました。

モーツァルト、ベートーベンなどのクラシック音楽は、作曲家が同年代に生きておりませんので、その時代を想像しながら演奏しますが、今回は作曲家自身の指揮でその作品を演奏することができ、貴重な体験となりました。

池辺さんは学生時代から演劇がお好きで、作品も演劇の音楽が一番多いそうです。そのせいか演奏も作品も劇的に作られたと感ずります。今回池辺さんに、「演奏会の感想を書く」と言うと「一昨日は雨が降ったけれど、昨日今日は雨も降らないし、乾燥して感想もいいんじゃないですか」と本番前にもダジャレを交えてその場を和やかにして下さいました。色々なダジャレが飛び出す池辺さんでしたが、その頭の回転の速さには驚かされました。私達も様々な色彩が次々と飛び出すオーケストラになっていけるようにしたいです。

## ステマネくんの楽屋 de トーク!!

第3回: ヴィオラ 加瀬 眞望子

楽屋deトーク第3弾! 今回は楽団一の天然&不思議キャラでお馴染みのヴィオラの加瀬眞望子さんにお話をうかがいました。

◆—— ヴィオラはいつからやっているの?

愛知県立芸術大学入学時からです。ヴィオラを専攻しました。

◆—— ヴィオラに興味を持った&好きになったきっかけは?



私の家族は私の小さいころからよく父の音楽愛好家仲間が集まってカルテット弾いて楽しみ、夕食を食べながら音楽の話に花が咲くような家族でした。もともと体の小さい私はヴァイオリンの大人のサイズになるのが遅くて、やっと大人の楽器を持った頃、父のお友達にヴィオラを弾かせて頂き「あれ、大きいけど弾けるじゃない!」「良い音だわ」と思ったのが興味を持ったきっかけかもしれません。ヴィオラを好きになったのは、小さいころから7つ年上の姉を目標にヴァイオリンを弾いていました。そのころからよく聴いていたヴァイオリン奏者が「ピнкаス・ズッカーマン」です。彼がヴィオラに持ち替えてブラームスの「ヴィオラソナタ」を聴いた時、胸が高鳴り、ヴィオラが好きになりました。

◆—— オーケストラでのヴィオラの役割ってなんですか?

中わたです! クッション選びはやっぱり見た目大事ですよ。柄・色・大きさ・形や生地…などの外見って大事だと思います。この外見はいわばメロディだと思うんです。花柄のような甘いメロディ、赤いヴィオロードのような重厚感のある壮大なメロディ。そしてこんな素敵なクッションの中わたに、固い・柔らかい・羽根・綿・低反発…そばがら??(笑) 詰める量にも気を配って「深く沈みこむフィット感・背筋がピンとする固めのフィット感」なんて具合に外見(メロディ)を愛すればこそ、どんな中わたにして寄り添っていかうかと調整してメロディに質感をプラスする役目だと思ってやっています。クッション選びに「中わたこそ一番重要じゃん!」と言って下さる方、わかってらっしゃる!!(笑) と言いたいです^^ ヴィオラを愛するあまり感じているのは、ヴィオラって意外と重要なポストなんですって思っています。

◆—— 中部フィルのヴィオラパートの特徴は?

綺麗なお姉さん4人と、私。女性パワーで中わた制作しております。(笑)

◆—— 将来どんな演奏家になりたいですか?

もっともっとヴィオラの理想の音色に近づきたい。いろんな曲と出会い「音が作り出す心の模様」に接してそれを表現できる演奏家になりたいと思います。

◆—— 好きな演奏家は?

今井信子さんです。

◆—— 好きな指揮者は?

ジュゼッペ・シノーポリ。

◆—— 好きな作曲家は?

グスタフ・マーラーのシンフォニー・ブラームスの室内楽曲・ドビュッシー・ラヴェルなどフランス近代のオーケストラ曲。

◆—— 音楽以外の趣味は何ですか?

旅行とショッピング、カフェ。ヨーロッパ大好きです、日本も好きですよ。ヨーロッパの好きな街はフィレンツェ、知る人ぞ知るサン・セバスチャン。日本の好きな街は京都と奈良です。

◆—— 休日の過ごし方は?

一日休みという日は少ないですが、仕事の合間にカフェやショッピングに行ったり、花を見てお散歩したり、楽しんでます。

◆—— お料理はしますか?

自分の食べる物は作りますが、苦手です! 自分で作ると一口食べて「ごちそうさま」です。お腹は正直ですね(苦笑)。

◆—— 眞望子さんの名前の由来は?

父と母が変わった名前にこだわりがあって、真実の真と希望の望でまぼこ…。小学校のころから4月に「加瀬眞望子です」と自己紹介すると、翌日にはカマボコと呼ばれてました。去年知ったんだけど、フェイスブックで「マボコ」で検索すると300人ぐらいhitしたんですが全員ごっつい男性のアフリカ人でした…。



◆—— 好きな男性のタイプは?

えーっ! 付き合いたいタイプなのか? それとも気になる感じのタイプ?(…そんならどっちでもいいよ…)

芸能人でいうと大泉洋さんが好きです。

◆—— 音楽家でなければ何になりたかった?

いろいろバイトをいっぱいしたけど、私には何一つ向いていなかったのだからやっぱり音楽家以外にはないです。

◆—— いまの楽器との出会いは?

父からのプレゼントです。

◆—— あなたにとってヴィオラとは?

永久に不滅な大好きな彼氏です。でも他に彼氏作りた〜い!

眞望子ワールド炸裂のインタビューでした。原稿を書いちゃだめと言ったのに書くわ、勝手に質問を作って答えるわ、写真はスマホのカメラはNGと言うわで終始振り回されました。  
(インタビューア: 吉田敬一)